

関西理学療法学会 一日研修会 デイセミナー第1講

『基本動作：姿勢・動作分析における工夫～臥位から起き上がり～』

スマレ会グループ

後藤 淳

リハビリテーション分野において、姿勢・動作観察、分析が大変重要であることは間違いないと思います。ロボット工学、AIなどによるリハビリテーションも発展してきており、今後ますます多くなることは予測されますが、現時点で一人お一人の状況を分析し、充分に対応できるところまでには至っておりません。運動療法における評価は、リハビリテーション専門職の眼と手が重要です。ただ、個人の能力により、評価が異なることも散見され、曖昧になることもあります。

本講習会では、「基本動作における姿勢・動作分析の工夫」というタイトルで、改めて姿勢・動作を見直して頂ける機会になるかと思います。ここでは、「背臥位から起き上がり動作」のなかで、特に「背面の触診」と「特徴ある箇所の模倣」を通して、患者様の全体像のイメージ化と、続く基本動作の推測に繋がっていただければ嬉しく思います。